

平成29年度 関信越高等学校ゴルフ選手権大会 関東決勝大会予選

- 主催 関東高等学校ゴルフ連盟
- 期日 2017年5月22(月)
- 場所 那須野ヶ原カントリークラブ

競技規則

競技の条件

1 ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則およびこの競技のローカルルールを適用する。

2 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3 使用球

競技者の使用球は、R&A発行の最新公認球リストに記載されているものでなければならない。

4 ドライビングクラブ

競技者がラウンド中に持ち運ぶドライバーは、R&Aルールズ・リミテッドの発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに名前が記載されているクラブヘッドを有していなければならない。

5 ホールとホールの間での練習禁止

競技者はプレーを終了したばかりのホールのグリーン上やその近くでは、いかなる練習ストロークも行ってはならない。

この条件の違反の罰は、次のホールに2打罰。最終ホールではそのホールに2打罰。

6 プレーの一時中止

(1) 通常のプレーの一時中止(雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則6-8b, cに従って処置をすること。

(2) 危険を伴う気象状況(雷など)のため委員会の決定によりプレーが一時中止となった場合で、同じ組の競技者全員がホールとホールの間にいた時は、各競技者は委員会よりプレーの再開の指示がでるまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、その後委員会よりプレーの再開の指示がでるまでプレーを再開してはならない。この条件の違反の罰は、競技失格(ゴルフ規則6-8b注)。

(3) プレーの一時中止と再開の合図について

通常のプレーの中止、危険を伴う気象状況のための即時のプレー中止、プレーの再開は委員会の指示による。

7 競技の短縮

委員会は、コースの状態が適正なるプレー不可能と判断したときには、競技規定に定めてあるホール数を短縮することができる。

8 競技の終了

本選手権競技は、競技委員長の成績発表をもって終了とする。

ローカルルール

1 アウトオブバウンズの境界は、白杭をもって標示する。

2 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示とし、プレー禁止区域とする。本項の違反の罰は2打。

3 コース内の池はすべてラテラル・ウォーター・ハザードとし、赤杭及び赤線をもってその限界を標示する。

4 スルーザグリーン内に設置された構築物(非難小屋・標示杭・球止め金網・キャディー避難の金網・マンホール・砂箱・腰掛け・樹木の支柱・切り株・排水溝・カート道路・ヤード標示の白鋸、等)は動かすことのできない障害物とする。

5 バンカー内の排水栓は動かすことのできない障害物とする。

6 「クローズド(Closed)」か「使用禁止」などの標示がある予備グリーン(カラーを含む)はプレー禁止の修理地(スルーザグリーン)とし、その上に球が止まっているかまたはスタンスがかかる場合は、競技者はゴルフ規則25-1b(i)を適用しなければならない。本項の違反の罰は2打。

7 電磁誘導カート用の2本の人工の表面を持つ軌道は、全幅を持ってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にある場合、競技者はゴルフ規則24-2b(i)の救済を受けなければならない。本項の違反の罰は2打。

8 スルーザグリーンで、自己の球がその勢いで自ら地面に作った穴(ピッチマーク)に食い込んでいる時は、罰なしに球を拾い上げ、球のあった箇所にてできるだけ近く、且つホールに近づかない地点にドロップすることができる。(拾い上げた球は拭くことができる。)

9 バンカー内の石は動かせる障害物とする。(規則24-1を適用)

10 那須コース3番ホールのグリーン後方の防球ネットは動かせない障害物とし、それを越えて那須コース3番ホールのプレーに支障がある場合は、特設ドロップゾーンよりプレーすることができる。

11 那須コース8番をプレー中において、グリーン左のラテラルウォーターハザードに球が入った場合、特設ドロップゾーンよりプレーすること

ができる。

注意事項

- 1 競技の条件またはローカルルールに追加、または、変更のあるときは、クラブハウス内あるいはスタートに掲示して告知する。
- 2 スタート前の練習は主催者の指示に従うこと。打ち直し練習場においてはアイアンのみを使用とする。
- 3 プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。
- 4 9ホール終了後、プレーの遅延にならない限りクラブハウスに立ち入ることができる。
- 5 スタート時刻10分前には、必ずティインググラウンド周辺に待機すること。
- 6 携帯電話・スマートフォン等はラウンド中の携帯を禁止する。これに違反した場合は、アドバイスを受けた可能性がありと見なし、ペナルティをす場合もある。

義務事項

- 1 指定練習は原則参加すること。
 - 2 ルールブック(JGA2016年度版)・競技規則・目土袋・スコップ・グリーンフォークは、競技開始から終了まで必ず携帯すること。
※ルールブック・目土袋等を持参しない場合、大会参加を認めない場合がある。
 - 3 ディボットへの目土を怠らないこと。また、グリーン上のボールによる損傷を修復するなど、コース保護に努めること。
 - 4 服装は、日本高等学校ゴルフ連盟ユニフォーム規定に準じる。
 - 5 高校生として、スポーツマンとして好ましからぬ言動を厳に慎むこと。プレー中の私語は特に慎むこと。
 - 6 茶髪・長髪・パーマネット等高校生の品位を疑うようなヘアースタイルでの試合参加は、厳に慎むこと。
 - 7 ネックレス・ピアス等装飾品は大会参加には不要なものであり、厳に慎むこと。
- 以上義務事項を遵守できぬ場合は、主催者により厳重な指導が行われる。